



コムソモリスク市へ中学生代表団が訪問 (7月24日～31日)

主な内容

- コムソモリスク市派遣中学生代表団
中学生代表団訪問の記録 … 28
- 加茂地区新規高卒求人説明会開催 … 9
- 第61回総合体育大会総合開会式 … 10・11
- 平成29年度下半期の財政状況 … 12
- 総体の結果 … 13
- 加茂の風土記「馬越遺跡出土の古代漆器」 14

百年に一度の唯一の好機！

新加茂病院に産科の個室20室を確保しました！ 妊婦の方々は、皆 個室を希望しています。

新加茂病院の隣りに病児保育園を確保しました！ お金は加茂市と田上町が負担！

この二つこそ絶対必要な少子化対策！

産科の個室が1つでは、医師も妊婦もやって来ず、産科は実現しません。

ロシアの子どもたちの積極性を見習いたい



コムソモリスク市派遣中学生代表团 訪問の記録

コムソモリスク・ナ・アムーレ市への中学生代表团派遣は今回で十五回目となりました。平成三年から始まった交流は、市内の中学生たちに世界の国々への関心を高めてきました。七月二十四日から三十一日まで八日間、ロシアの生活を体験してきた中学生代表团十二名の感想を紹介します。

コムソモリスク・ナ・アムーレ市 訪問報告



団長 須田 有本 千晴
中学校長

二十六年目を迎えた加茂市と姉妹都市コムソモリスク・ナ・アムーレ市の交流で、今回の代表団の団長を務めさせていただきました。

十二名の中学生と引率職員三名が、六月末に派遣団を結成しました。事前研修では、ロシア語の勉強、現地の交流会で披露する歌の練習、浴衣の着付け、加茂松坂の稽古などで、一流の先生方から御指導いただきという恵まれた環境を整えていただき、加茂市の素晴らしさを、身をもって実感しました。



七月二十四日(火)に、小池市長様を始めとする関係者、保護者の皆様に見送られて出発しました。七月二十五日(水)～七月三十日(月)まで、市役所表敬訪問をはじめとする数々の貴重な体験や訪問の全てが、五感で味わう貴重



な体験でした。人々の心の温かさ
に触れて得られる感動は、何にも
代えがたいものです。顔を見て、
声を聞いて、行動を共にして過ご
すことが、大きな喜びと感動をも
たらすことを改めて実感しました。
滞在の最後に、日本人抑留者の慰
霊碑に参拝しました。交流のきつ
かけになった場所で、歴史と伝統
のある派遣事業に関わらせていた
だいたこと、平和だからこそこう
してここにいられるのだと思うと、
胸が熱くなりました。

代表団の生徒の皆さんが、この
貴重な体験を十分に活かして、ふ
るさと加茂市を愛し、支え、発展

させる立場として活躍されること
を願っています。

最後に、この機会を与えてくだ
さった小池清彦市長様をはじめ、
加茂市国際交流協会、加茂市教育
委員会の皆様、コムソモリスク・
ナ・アムールレ市の関係者の皆様
に心から感謝申し上げます。本当
ありがとうございました。

自分を表現する力



引率 学校教諭
葵 石川 康
石

コムソモリスク・ナ・アムール
市の教育施設には驚きの連続でし
た。放課後の時間、休日の時間を
使って、自分が学びたいこと、自
分がやりたいことをやれる環境は
本当に素晴らしいと思いました。

例えば、子どもテクノパーク
「クヴァントリウム」では、科学
を勉強したい研究していた子ども
が通っていました。日本の高校や
専門学校、または大学で行うよう
な研究を、下は五歳から上は十八
歳の子どもたち行っていました。



一番の驚きは、八歳の子どもが自
分でプログラミングをしてロボッ
トを動かしていることです。八歳
の子どもだけではありません。生
徒たちと同年くらいの子どもも
プログラミングを行ってロボット
を動かしているのです。

日本は二〇二〇年からプログラ
ミング教育が開始されます。小学
校では英語の必修化が始まります。
ロシアではすでに学校の枠を飛び
出してこのようにスペシャルな子
供を育てている機関がありました。
その事実には、日本の教育の遅れを
感じずにはいられませんでした。
しかも、そんなクヴァントリウム

のような施設がロシアにはすでに
五十六もあるということ、教えて
いる先生の多くは大学の先生とい
うのには驚きでした。まさに自分
の興味があることを存分に学べる
環境がロシアにはありました。

「クヴァントリウム」のように
科学を学ぶ施設以外にも教育施設
がありました。子供創作宮殿に通
っている子どもたちは、ダンスや
歌、小物作成など創作活動を行っ
ていました。その施設には、当た
り前のようにプロジェクターが設
置してあり、ITの面でも子ども
たちの創作活動が有意義に行える
ように支援されていました。ステ
ージの上で、たった一人で歌った
り踊ったりした子どもを見て、本
当に驚きました。その姿はまるで
アーティストを見ているようで、
実に堂々としていました。また、
ふれあい活動では、どんどん日本
人の私たちをリードしてくれまし
た。男女関係なく、どんどん交流
する姿からは、恥ずかしさのかけ
らも感じませんでした。私たちが
積極的にリードしてくれる姿は本
当に素晴らしかったです。自分を
表現する力の高さを感じました。

準備のときから楽しみ



加茂中学校3年
乙川文隆

今回の訪問は僕にとって初の海外体験で、準備から楽しみな気持ちばかりでした。

出発前、僕は結団式の決意の言葉で、「現地の人と交流して、多くの事を学んできたい。」と述べました。その通り現地では、ロシアの人と交流する機会が何度もありました。

その一つが、子供創作宮殿を訪ねたことです。ここではコ市の子供たちと、ロシアのゲームをしたり、ペアになってマグネットを作ったりしました。ペアになった子と何度か英語で会話をし、さらに簡単なロシア語も使うことが出来ました。

他にも、キャンプ地や学校、アムール川などを訪れ、そこにいた人々と様々な交流をしました。これらの体験は、全ていい思い出になりました。

最後に、一緒に旅をした十一人

の仲間や、引率してくださった先生方、コ市の方々と加茂市役所の方々、楽しい体験を本当にありがとうございました。



「最高の夏」



加茂中学校3年
青木優弥

「最高だった〜！」帰国後、ロシアの感想を聞かれた時に答えている言葉です。感想を一言で表すと「最高」になります。この八日間の経験は、今までの人生の中で

一番刺激的で、たくさん感動し、貴重な経験となりました。

ロシアの人たちは、どこへ行っても熱烈に歓迎してくれて感激しました。ロシアでの生活は楽しすぎて一日一日があつという間に過ぎていきました。一番思い出深いのがキャンプ地での活動です。ここでの活動は、ロシアの同い年位の子供たちとの交流で、夜はダンスをしたり加茂松坂を披露したりととても盛り上がりました。色々なイベントを通して、言葉の壁を乗り越え仲良くなり、帰る時は「まだ帰りたくないな」と寂しくなった程です。

ロシアの旅では様々なことを感じ、積極的に交流ができました。この貴重な経験を今後に生かしていきたいと思います。そして、行動を共にした代表団の仲間たちと引率してくださった方々のおかげで最高の思い出となりました。この素晴らしい機会を与えてくださった加茂市長をはじめ加茂市役所の皆様、支えてくれた全ての方々に感謝します。ありがとうございました！



ロシアで学んだこと



加茂中学校2年
齋藤睦美

一番印象に残ったことは「ロシア人は積極的」ということです。例えば、キャンプ場でのコンサートで、小さな子供たちが「私を見て！」というような勢い良く拳手してアピールをしていました。「前に出たい！」「発言したい！」と思うことで、よりコンサートが盛り上がっているように感じました。

日本人は消極的だと言われています。加茂の子供たちも、授業では同じ人しか拳手をしません。ロシアの人たちを見ていたら、積極的になれば、毎日が楽しくなりそうだなと思いました。

ロシアに行つて、これまでの人生で忘れられない楽しい思い出になりました。私もロシアの人々を見習い、積極的に行動して、これからの人生をもっと楽しくしていきたいです。

ほぐれていった緊張



葵中学校3年 小林 嵩 良 小

私がこの七泊八日のロシアの旅を通して、学んだことは、コミュニケーションの大切さです。私は、言葉や文化の違いから自分から話しかけることがあまりありませんでした。しかし、ロシアの子供たちが積極的に話しかけてくれるので、とてもうれしく、緊張もほぐれていきました。緊張がほぐれたことで、会話も弾んでいき、とて



も楽しい時間を過ごすことができました。そこで、私はコミュニケーションの大切さを学ぶことができました。また、この他にも、多くのことを学び、吸収できました。このような学んだことは、一生に一度のかけがえのないものです。このロシアの旅をしたからこそ、学ぶことができました。このような学んだことはこれからの生涯に活かしていくことのできるものです。だから、しっかりとこれからの生活に活かして、よりよいものにしていきたいです。楽しい旅でした。ありがとうございました。



おもてなしに伝える



葵中学校2年 桑原 俊 輔

七月二十四日、多くの方々に見送られて、私は初めての海外旅行へと出発しました。心の中は不安な気持ちでいっぱい。食事はおいしいだろうか。コミュニケーションはとれるだろうか。しかし、ロシアで過ごしていくうちに、そんな気持ちはなくなっていきました。ロシアの人々が一生懸命おもてな

しをしてくれたからです。その姿をみていると、「私たちもその気持ちに答えなければ」と、思いました。そこで私は、海外旅行において大切なことを学んでいました。それは、おもてなしには必死に伝えるということ。このことはこれからの将来に役立てていきたいと思えます。

最後にこのロシア旅行に行きにあたって、私を支えてくださった人々に感謝したいです。ありがとうございました。スパシーバ。



スパシーバ〜ありがとう



葵中学校2年 金谷りさ

今回、コムソモリスク市派遣中学生代表団に選ばれて、小学生の頃からの憧れが叶い、嬉しかったです。この訪問を通して、今までテレビやインターネットでしか知らなかった世界を肌で感じる事ができました。

現地ゲームや活動を行うとき、ロシアの子とペアになることが何度もありました。その度に異なる地で緊張し固まっていた私の手



をとり、声をかけてくれました。

片言の英語やジェスチャーでしか通じない私達にとって、この行動には何度も救われました。ロシアの教育、スポーツ活動、文化活動は学校の範囲を越えて広く好きなことを好きなだけ学ぶことができ、環境が整っており、とても刺激を受けました。ロシアでの体験は私の宝物となりました。このような機会を下さり、サポートして下さった皆様、そして一緒に旅をした十一人の代表団の仲間達、スパシーバ。

多くを学んだ八日間



七谷中学校3年 坂上 柚葉

私にとってロシアで過ごした一日一日が驚きの連続でした。そして、すべての事に感動した日々でした。

中でも特に心に残っていることは、ホルドミというキャンプ地の活動です。いろいろなプログラムを体験させていただきました。

展示即売会では、ロシアの子と輪

になって踊ったり、ダーツをしたりして楽しみました。ロシアの子とたくさん話して、笑いあって、とてもたくさんコミュニケーションをとることができました。

私が学んだことは笑顔で楽しむことです。積極性も大切ですが、それ以上に楽しむことが大切だと私は感じました。

私はこの八日間でたくさんの方々と学んできました。このような機会をつくって下さった方々に感謝します。本当にありがとうございました。



自分から



若宮中学校2年 小野綾音

私は、コムソモリスク市を訪問して、現地の子どもたちから、自分もこんな風になりたい、と思う手本を見せてもらいました。

出発する前、私は初対面の人に自分から声をかけたり、何かに誘ったりすることが苦手な上に、言葉が通じない異国に行くので、現地の子どもたちと交流を深めることができるか、とても不安でした。しかし、コムソモリスク市内の施設での交流やキャンプ地での交流では、ペアになるときにむこうから、言葉が通じないので手をさしのべてくれたり、分からなくて手が止まっていたときにジェスチャーで教えてくれたりしました。現地で会った子は皆、積極的に自分から行動していて、自分もこんな風になりたいと思いました。

今回、このような貴重な体験をし、多くのことを学ぶことができましたのは、たくさんの方の協力があ

ったからだと思えます。本当にありがとうございました。



ロシアの子との交流



須田中学校2年
小池 姫 愛

私は今回のロシアへの訪問で一番印象に残ったことがロシアの子との交流です。ロシアではペアになって活動をしたり、皆で踊ったり、チョークアートを描いたりして交流しました。またキャンプ地では私たちがロシア語で、ロシア

の子は日本語で「こんにちは」とあいさつを交わしました。ロシアの時はとても嬉しかったです。これらの交流を通して感じたことがあります。それは言葉の壁はあっても一緒に活動したり、あいさつをしたりすることで心は通じ合えるということです。一方で、「もっとロシア語や英語を知っていれば」ともどかしく感じることもありました。なので今まで以上に外国語の勉強をがんばりたいと思います。

最後にこの訪問に協力してくださった皆さん、本当にありがとうございました。



ロシア訪問を経て



燕中等教育学校
2年
中名 林 陽 也

七月二十四日から八日間、僕はロシアのコムソモスク・ナ・アムール市を訪問しました。初めての海外旅行で不安の方が大きかったのですが、ロシアの人達はそれをかき消すほどの温かさで僕たちを歓迎してくれました。

ロシアといえば、広い、大きいというイメージを持っていました。が本当にそうでした。道路の幅の広さやアムール川の川幅は圧巻でした。

現地の人との交流から学んだこともあります。歌ったり、踊ったりと全てのことに熱心に向き合うこと、初対面の人にも積極的に関わる姿勢は、消極的な自分にとって見習わなくてはいけないと気付かされました。

この八日間の体験が今後の僕の人生に与える影響はとても大きいと思います。僕にとって最大の刺激で忘れられない思い出になりました。

した。このような機会を与えていただき、サポートしてくださった皆様、代表団のみなさん、本当にありがとうございました。



ダンスで表現する楽しさ



新潟明訓中学校
3年
午 脇 昂 成

私にとって初海外で会った今回の派遣は夢のように充実しているものでした。まず私はロシアの人々の人間性に驚きました。特に



私たちと同年代の子供たちはダンスが大好きで音楽がかかると身のり出して踊り始めるのです。私ははずかしいという気持ちが大きかったのですが一緒に踊ると自分をダンスで表現する楽しさや積極性をロシアの方に教えてもらいました。日本人にない物を補えた気がしました。そして私は人とコミュニケーションをとる楽しさを知ることができました。今回の派遣は必然と会話する事が多かったと思います。そこで日本人ともロシア人ともその人のユーモアを直接感じ取ることができました。これらのことより私は派遣団の一人となつてまだ数えきれないくらいの

成長ができたと思います。またこれからも成長し続けなければならぬと思います。最後にこのような機会を与えてくれた今回の訪問に関わった皆様、本当にありがとうございました。

忘れられない 人生の一ページ



新潟明訓中学校
3年 本間 あかり

これから訪問するロシアについて、様々な想像しながら日本を発つたあの日。この約一週間の研修で何を感じ学んだのかを述べていきたいと思います。

私がまず思ったのは、音楽は世界共通の言語であるということ。ロシアでは、国や言語の違いで多少困ることがありました。しかし、言葉が通じなくてもダンスを通して、一緒に楽しめ、心を通わせることができました。

また、文化の違いを認め、相手を尊重することの大切さを学びました。ロシアは外国ですから当然



日本とは異なる点が多くあります。食べ物や習慣、考え方。日本との違いを発見する度、私はここがロシアなのだと思えました。しかし、自分達と違うから間違っていると否定するのではなく、あえてその違いを新鮮なものとして楽しみ、認め合い、相手を尊重することが、異文化交流に一番重要だと学びました。この学びを生かして、今後人と関わる時、自分との考え方の違いを尊重し、相手を理解しようという気持ちを持って接していきたいです。

今回の研修は、自分にいい刺激を与えられた良い機会でした。素晴らしい経験の一つ一つは私の人生の中で忘れられない思い出になると思います。

コムソモリスク・ナ・アムール市派遣中学生代表团 訪問日程

- 7月24日 加茂出発、成田空港からハバロフスク空港へ。バスでコムソモリスク市に深夜到着。
- 25日 コムソモリスク市役所を表敬訪問。郷土博物館、子供科学館を見学。
- 26日 子供創作宮殿見学。ロシア料理教室を体験、中学校、スポーツセンター訪問。
- 27日 美術館で加茂の中学生の作品を展示準備。キャンプ地「ホルドミ」へ。
- 28日 「ホルドミ」での交流プログラム。(29日午前までキャンプ地プログラム)
- 29日 創建者広場、アムール河岸散策、日本人抑留者慰霊碑訪問。
- 30日 第18番保育園、エキスポセンター、ピトン動物園訪問。
- 31日 コ市からハバロフスク空港へ。成田空港に帰国、午後7時30分に加茂市役所到着
(代表团随行通訳 マリーナ・レベデワさん、随行 市総務課 小柳貴之)

来春の就職・採用に向けて 加茂地区新規高卒求人説明会



就職を希望する高校三年生を対象とした企業説明会が七月十七日、産業センターでありました。説明会は、加茂市とハローワーク三条が主催し、今年で七回目となります。会場は昨年同様、産業センターの一階ホールと二・三階の会議室で、県央地区を中心に県内の企業七十一社（六十七ブース）から参加していただきました。

開会前に吉田加茂市副市長は「今、日本の経済活動の中で、専門技術を持つ人が不足しており、いろいろな分野で若い力が必要とされています。そこで、生徒の皆



さんには、自分が打ち込める、自分に合った職業は何かを見つける機会にしてください。」とあいさつしました。続いて、ハローワーク三条の成澤所長は「三条管内は県内で求人倍率が一番高い状況にあります。今日の説明会で、参加企業はどんな人材を求めているかをアピールする機会です。生徒の皆さんは、なるべく多くの企業の説明を聞いてください。」とあいさつされました。

説明会に参加した高校生は、県内十校から約九十人が来場し、担当者から各社の事業内容や職場環境を聞いていました。

第61回 加茂市総合体育大会 総合開会式



七月十九日、文化会館で総体総合開会式が行われました。加茂高校吹奏楽部の演奏により二十競技団体が入場した後、体育功労者、優秀競技者の表彰がありました。表彰されたのは、県大会で活躍し、北信越・全国大会で活躍された方々です。今年度の総体は、市民登山から始まり、来年三月のフットサルまで十八競技が開催されます。表彰された方々は次のとおりです。(敬称略)

【体育功労者章】

▼青柳和衛(加茂スキークラブ競技部員として各大会で活躍するとともに、ジュニア選手育成に尽力)

【優秀競技者章(団体)】

▼ひらり(平成30年度新潟県家庭婦人バレーボールことぶき親善大会全国大会予選で第二位) ▼加茂ジュニアバレーボールクラブ(平成29年度チーム・第37回新潟県スポーツ少年団総合体育大会バレーボール大会で準優勝) ▼加茂JVC(第25回新潟県小学生バレーボール新人大会で第二位) ▼加茂JVC(平成30年度チーム・第38回全日本バレーボール小学生大会新潟県大会で第三位) ▼加茂空手ス



ポーツ少年団中学生男子(第37回新潟県スポーツ少年団総合体育大会空手道大会で中学生男子「形(団体)」準優勝) ▼加茂高等学校体操部(平成30年度新潟県高等学校体育大会体操競技大会で団体総合二位) ▼新潟経営大学体操競技部(第68回西日本学生体操選手権大会で団体総合四位) ▼Kam

oRG(平成29年度北信越ジュニア新体操選手権大会新潟予選会で女子団体競技第三位)

【優秀競技者章(個人)】

■柔道 ▼小林慎之介(平成30年度全日本ジュニア柔道体重別選手権新潟県予選で男子個人戦90kg級第



二位) ▼渡部碧斗(平成30年度全日本ジュニア柔道体重別選手権新潟県予選で男子個人戦90kg級第三位) ■スキー競技 ▼阿部勝男(第21回新潟県マスターズスキー大会で回転80歳男子の部優勝) ■ソフトテニス ▼齋藤彩華(第17回全国小学生ソフトテニス大会新潟県予選会で優勝) ▼三村乙葉(第17回全国小学生ソフトテニス大会新潟県予選会で優勝) ▼星翠葉(第17回全国小学生ソフトテニス大会に出場) ▼前山愛(第60回北信越高等学校ソフトテニス選手権大会で個人戦優勝) ▼馬場優芽(平成30年度新潟県高等学校総合体育大会



ソフトテニス競技で個人戦ベスト16) ■陸上競技▼関口奈々(第57回北信越高等学校陸上競技対校選手権大会で女子四百mリレー六位) ■卓球▼松澤和咲(平成30年度卓球全日本選手権新潟県予選でカプ女子第二位) ■空手道▼伊丹陸(第26回全国中学生空手道選手権大会新潟県予選会で中学生男子「形」第三位) ▼渡部幸(第44回全国高等学校空手道選手権大会で女子団体組手第五位) ■水泳競技▼中林祥子(平成29年度北信越高等学校体育大会水泳競技大会に出場) ▼土橋聖(平成29年度北信越

高等学校体育大会水泳競技大会に出場) ▼大野一真(平成29年度北信越高等学校体育大会水泳競技大会に出場) ▼有本翔真(平成29年度北信越高等学校体育大会水泳競技大会に出場) ▼土橋輝(第72回国民体育大会水泳競技大会に出場) ■体操競技▼北澤寛太(平成29年度北信越ジュニア体操競技選手権大会で男子U15個人総合二位) ▼保倉秀翔(平成29年度北信越ジュニア体操競技選手権大会で男子U15個人総合三位) ▼長澤響(平成30年度新潟県体操競技選手権大会で高校生男子個人総合二位) ▼五十嵐大都(平成29年度全国小学生体操大会で銀賞) ▼茅原花奈(平成29年度全国小学生体操大会に出場) ▼坂上ここ(平成30年新潟県体操競技選手権大会で小学生女子B個人総合一位) ▼白根愛理(平成30年新潟県体操競技選手権大会で小学生女子B個人総合三位) ▼織田進太郎(第68回西日本学生体操選手権大会で平行棒一位) ▼松本悠雅(平成30年新潟県体操競技選手権大会で個人総合一位) ▼中川佳祐(平成30年新潟県体操競技選手権大会で個人総合二位) ▼下克哉(平成30年新潟県体操競技



選手権大会で個人総合三位) ▼津浦功記(平成30年新潟県体操競技選手権大会でゆか一位) ▼公野朝陽(平成30年新潟県体操競技選手権大会でつり輪一位) ▼渡邊晴喜(平成30年新潟県体操競技選手権大会で跳馬一位) ■グラウンドゴルフ▼山崎次男(第73回国民体育大会グラウンド・ゴルフ新潟県予選会で個人の部第二位) ■太極拳▼栢森茂昌(第27回新潟県武術太極拳選手権大会で60歳以上の部二位) ▼窪田秀夫(第22回にいがたねんりピックで太極拳男子70〜74歳の部二位) ▼桑原豊(第22回に

いがたねんりピックで太極拳男子60〜64歳の部二位) ▼船久保麻子(第22回にいがたねんりピックで太極拳女子60〜64歳の部三位) ▼大湊ユリ子(第22回にいがたねんりピックで太極拳女子65〜69歳の部三位) ▼吉田陽子(第22回にいがたねんりピックで太極拳女子65〜69歳の部二位) ■新体操▼竹内理恋(第48回新潟県中学校総合体育大会新体操大会で個人競技の部第三位) ▼岡田美空(平成29年度北信越ジュニア新体操選手権新潟県予選会でジュニアの部個人総合五位) ▼能勢柚花(平成29年度北信越ジュニア新体操選手権新潟県予選会でジュニアの部個人総合六位) ▼笠間清楓(平成29年度北信越ジュニア新体操選手権大会でチャイルドの部ボール三位)

平成29年度 下半期の財政状況

加茂市には、どのようなお金が入り、何に使われているのか・・・。
市では毎年財政状況を公表しています。今回は、平成30年3月31日までの財政状況をお知らせします。

■一般会計

予 算 額 149億3,519万円
収入済額 113億2,202万円 (収入割合75.8%)
支出済額 112億9,743万円 (支出割合75.6%)

歳 入		歳 出	
42億5,344万	地方交付税※	民生費	40億8,482万
41億9,878万			38億 65万
26億8,488万	市 税	教育費	19億7,598万
25億8,620万			16億2,257万
13億8,882万	国庫支出金	公債費	14億1,803万
11億7,845万			13億8,937万
29億8,560万	諸収入	土木費	16億7,447万
9億2,775万			11億 852万
7億6,621万	県支出金	商工費	27億7,196万
5億6,724万			9億1,877万
12億4,290万	市 債	総務費	10億3,603万
5億2,530万			8億1,460万
4億8,500万	地方消費税交付金	衛生費	6億6,551万
4億6,355万			6億1,572万
11億2,834万	その他	その他	13億 839万
8億7,475万			10億2,723万

■上段：予算額
■下段：収入・支出済額

※臨時財政対策債は地方交付税に含む

■特別会計

項 目	予 算 額 (万円)	歳 入		歳 出	
		収入済額 (万円)	収入割合	支出済額 (万円)	支出割合
国民健康保険	37億1,555	30億 989	81.0%	33億2,470	89.5%
後期高齢者医療	2億8,828	2億8,203	97.8%	2億8,340	98.3%
宅地造成事業	3億4,942	8,786	25.1%	1,121	3.2%
下水道事業	21億4,045	13億6,944	64.0%	15億6,283	73.0%
介護保険	31億1,937	30億1,779	96.7%	28億 647	90.0%
在宅介護サービス事業	5億8,952	5億2,891	89.7%	5億7,055	96.8%
合 計	102億 259	82億9,592	81.3%	85億5,916	83.9%

■水道事業会計

項 目	歳 入			歳 出		
	予 算 額 (万円)	収入済額 (万円)	収入割合	予 算 額 (万円)	支出済額 (万円)	支出割合
収益的	6億1,641	5億2,952	85.9%	5億 362	4億7,337	94.0%
資本的	2億5,002	1億9,514	78.0%	3億7,415	3億1,884	85.2%

※収益的収入からは減価償却費として1億8,591万円が天引きされ、これが留保財源（貯金）となります。
収入と支出の差は、この留保財源（貯金）で補てんされ、余った分（黒字）は翌年度へ繰り越されます。
この翌年度へ繰り越される留保財源（黒字）は6,221万円です。

市有財産の状況	
土 地	1,778,063㎡
建 物	143,072㎡
構 築 物	253基
基 金	1億6,895万円 106,725㎡

市債の現在高	
一 般 会 計	93億5,743万円
下水道事業会計	113億2,881万円

※市債現在高は93億5,743万円ですが、国が全額負担する分を除くと41億6,554万円となり、これを返済するとき国がさらにその一部を負担しますので、実際に加茂市が返済する金額は29億3,338万円となります。

第61回 総体結果



登山

期 日 七月七・八日
会 場 熊野岳・南蔵王縦走
(山形県・宮城県)

※登山は、一般参加者と加茂山岳会指導者など三十五名が参加しました。



硬式テニス (ダブルス)

期 日 七月十五日
会 場 庭球場(駒岡)

※男子BクラスはAクラスに含めて実施しました。

【男子Aクラス】

①橋本国定(加茂フレンドリー)・大矢司朗(加茂ローン) ②川又誠一・中原徳剛(加茂フレンドリー) ③田下勝巳・山口茂之(加茂ローン)

【女子Aクラス】

①志田美津子(グレイト)・中山佐和子(シテイサークル) ②大桃さおり(加茂テニス)・須田朝子(シテイサークル)



水泳競技

期 日 七月二十九日
会 場 市民プール

※選手の所属で(A C)は「加茂アクアコミュニティ」です。

【小学生男子】

▼50m自由形①坂井萩(加茂西小) 33秒94 ②角田樹一(A C) ③鈴木紘斗(A C) ▼50m平泳ぎ①関川朋(A C) 57秒16 ②佐藤康多(A C) ③阿部夢(石川小) ▼50m背泳ぎ①坂井雅(加茂西小) 53秒56 ②吉田桔平(加茂小) ③山田悠翔(A C) ▼50mバタフライ①坂井萩35秒71 ②角田樹一▼100m背泳ぎ①鈴木紘斗1分46秒88 ▼200mリレー①加茂A C・a 2分59秒86 ②加茂A C・β ③レッドキャニオン

【小学生女子】

▼50m自由形①田中彩寧(下条小) 32秒47 ②石附優衣(A C) ③斉藤綾(A C) ▼50m平泳ぎ①田中彩寧44秒39 ②丸山碧己(A C) ③石附優衣▼100m平泳ぎ①丸山碧己2分17秒54

【中学生男子】

▼50m平泳ぎ①皆川武蔵(加茂中) 45秒36 ▼100m平泳ぎ①皆川武蔵

1分39秒91

【中学生女子】

▼50m自由形①坂井椿(加茂中) 29秒94 ②志田悠花(A C) ▼50m平泳ぎ①坂井椿41秒35 ▼50m背泳ぎ①志田悠花39秒3 ▼50mバタフライ①笹川美晴(A C) 34秒63 ②鈴木芽依(A C) ▼100m自由形①鈴木芽依1分13秒64 ▼100mバタフライ①笹川美晴1分15秒22

【高校一般男子】

▼50m自由形①坂井風(A C三条) 27秒74 ②斧晃光(加茂SP) ▼50m平泳ぎ①大野一真(A C三条)

34秒43 ②有本翔真(A C) ▼50mバタフライ①吉田稜太(A C) 27

秒28 ②坂井風▼100m自由形①有本翔真57秒24 ▼100m背泳ぎ①吉田稜太1分5秒51 ▼200m個人メドレー①斧晃大(加茂SP) 2分48秒77

【高校一般女子】

▼50m自由形①小林麻代(加茂SP) 36秒98 ②渡邊真季(加茂SP) ▼50m平泳ぎ①土橋聖(A C) 38秒24 ▼50mバタフライ①山本翼(A C) 42秒47 ▼200m個人メドレー①小林麻代3分26秒42 ②渡邊真季

【壮年男子】

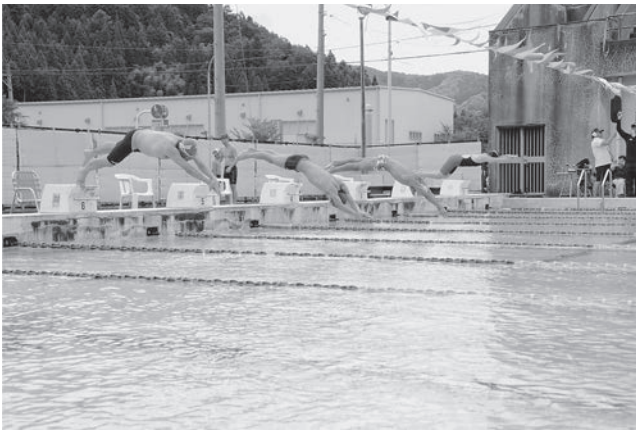
▼50m自由形①柄沢亮31秒32 ②浅野真一 ③小林誠▼50m背泳ぎ柄沢亮39秒28 ②小林誠▼50mバタフライ①浅野真一 36秒8

【壮年女子】

▼50m自由形①田中加代子(A C) 40秒11 ②清水芳美 ②50m平泳ぎ①清水芳美59秒4

最優秀選手賞

▼小学生男子 坂井 萩(加茂西小)
▼小学生女子 田中彩寧(下条小)
▼中学生男子 皆川武蔵(加茂中)
▼中学生女子 坂井 椿(加茂中)



馬越遺跡出土の古代漆器

日本では漆うるしの利用は、すでに約九〇〇〇年前の縄文時代から行われていたことが知られている。昨今、生活様式の変化により、漆器離れと漆器産業の衰退が叫ばれて久しい。

和食文化に欠かせない木製食漆器の椀や皿。これまで、加茂市内では馬越遺跡・中沢遺跡・舞台遺跡の三つの遺跡から漆器が出土している。いずれも河川跡や井戸跡などの水浸かり条件が良い環境下の場所となっている。

古代において漆は貴重品で、国こく家、国こく衛、寺院等により、上質品の漆下地漆器が独占的に生産されていた。古代越後国では漆は税の貢進物のひとつであり、漆の産地として知られていた。

馬越遺跡からは九世紀後半〜一〇世紀初め頃の平安時代の漆器が五点出土している。破片が多く原形を知らないが、椀または皿および鉢である。すべて内面、外面ともに黒色漆が塗られた総黒色系と呼ばれる漆器である。

その中でも、特に写真の漆器は

極めて薄手のつくりで一見して上質なつくりであることが感じられる。口の部分が反りかえり端反口縁となる特徴的な器形である。これは、佐波理（銅に数%程度の錫と鉛を加えた合金）などの金属食器や中国製陶磁器を写した形であり、地方出土品としては極めて貴重なものであることが指摘されている。また、塗装工程の分析からも、ゆがみや亀裂を防ぐためと見られる ①布着せが施された後、②地の粉（鈹物粒子）漆下地層、③黒色漆層、④地の粉（鈹物粒子）漆下地層、⑤黒色漆層、⑥黒色漆層が塗り重ねられた 上質品であることが判明した。

この漆器は馬越遺跡が官衛と関連した地域経営の中心的な性格を帯びていたことを裏付ける貴重な出土品のひとつである。

顕微鏡でしか見ることができない漆塗膜の断面や精巧なつくりから古の匠の技と丹精込めた労力が想像でき、小破片であるが内包する情報量の多さに驚かされる。

（伊藤秀和）

加茂の風土記



馬越遺跡出土古代の漆器写真と実測図

あいち
せと
つ

社会福祉費寄付金

▼故・小日向ハルイ様ご遺族から
十万円

人口のうごき

7月1日現在
世帯 10,276 (- 4)
人口 27,408 (-28)
男 13,324 (- 6)
女 14,084 (-22)
()内は前月比
(6月異動分)
出生 13 (男 7 女 6)
死亡 35 (男11 女24)
転出 44 転入 38